

選挙10日目 春名候補 徳島入り 大平議員は山口で行動

この土日 空前の宣伝・対話で大攻勢を



選挙戦 10 日目、春名なおあき比例候補は選挙に入って初めて徳島県入りしました。春名候補は、アベノミクス問題では「年金基金 1 3 0 兆円の株運用比率を大幅にたかめ、自らの政権の支持を維持するのに活用した安倍政権。いままでに 5 兆円以上の損失が出ている、そしてイギリスの EU 離脱という事態での株価の大幅下落という時代に見舞われ、さらに大きな損失が出るのは避けられません。国民の財産を自分のポケットマネーのように扱って損失が出て責任を取らない。こんな傲慢不遜な安倍政権を必ず倒そう」と訴えました。

地方議員が対話・支持拡大の目標達成の先頭に

岡山県の森藤政憲奈義町議は得票目標の 5 0 0 票を達成するため、支部の人たちと力を合わせ 6 月末までに 3 3 0 人に支持を広げています。町議選のときの結びつき名簿を一日も早く当たり切り、テレデータで対話を広げる計画です。野党共闘への期待も広がっていて、「うまくいけばいいけど」といってくれる一方で、比例は共産党とはっきりしている人でも、野党共闘のことを知らない人がまだまだいて、宣伝の大切さを感じています。一方で「私は自民党員だけど、憲法の改悪だけは反対だ」という人もいます。期日前投票現在 5 0 0 人（有権者の 9・5%）で、投票率を上げるためにも、一人でも多くの人に声をかけようと活動しています。春名比例候補と同郷の党の支持者は、訪ねてくる人みんなに、党と野党統一候補への支持を広げてくれていて、森藤議員は担い手を広げるために力をあわせています。

（岡山県委員会の参議院選挙必勝 議員・予定候補交流ニュースより）

党員は「春名なおあき」と書いて投票しよう

党員の間でも「日本共産党と書けばよいのでしょうか」という方もいます。参院比例では候補者名の名前が多い順番に当選が決まります。春名なおあき候補をはじめ「ベストナイン」の議席保障のため中四国の党員は「春名なおあき」と書いて投票しましょう。